浮世絵師

歌川国貞展

2016年
11/23 水・祝
～12/18 日

Utagawa Kunisada's Ukiyoe

粋で艶っぽい美人を描き、庶民の心をつかんだ江戸末期の浮世絵師・歌川国貞（三代豊国・1786～1864）は、浮世絵史上最多となる数万点もの作品を残した人物として知られています。22歳でデビューしてから79歳で亡くなるまでの間、常に第一線で活躍し、当時の人々から絶大な人気を博していました。

本展では、当館が所蔵している美人画より厳選して、国貞の画業を幅広く紹介します。多彩な国貞の世界をお楽しみください。

歌川国貞《(浄瑠璃づくし) 梅川忠兵衛 新口村の段》

本展の見どころ

1 《浄瑠璃づくし》全10点公開

斬新な構図で知られる代表作《浄瑠璃づくし》が10点すべて揃っているのは、世界でも当館だけ。本展ではその全貌をご覧いただくことができます。

2 広重とのコラボレーション

《東海道五十三次》で有名な歌川広重。同じ歌川派の絵師として、国貞とは親しく交流していました。

国貞と広重の合筆作品や、広重の風景画を背景にした国貞の美人画など、二人の巨匠の夢のコラボレーションをお楽しみ下さい。

3 一大ブームとなった「源氏絵」

柳亭種彦の『偐紫田舎源氏』は国貞が挿絵を描いて大ヒット、江戸では空前の源氏ブームが起こりました。本展では、源氏物語をモティーフにした「源氏絵」を特集、そのコーナーでは春画《花鳥余情吾妻源氏》も公開します。

（※会期中に場面替えあり。なお《花鳥余情吾妻源氏》は性的描写を含むため、18歳未満の方のご観覧はご遠慮下さい。）

関連事業 （いずれも観覧券が必要です）

＊ギャラリー・トーク 「三代豊国が描く、風流江戸美人」
11月26日（土）
14時～14時30分 展示室B 講師：当館学芸員
参考資料を交えながら、国貞についてお話します。

＊ギャラリー・ツアー
12月3日（土）
14時～14時30分 展示室B 講師：当館学芸員
お客様と一緒に展示室を巡って、作品解説をします。

＊国貞ぬりえ
会期中随時（自由参加） 展示室B
大人も子どもも楽しめるぬりえを体験できます。

歌川国貞
《今風化粧鏡（合せ鏡）》
（部分）

会 場 北海道立近代美術館 展示室B

開館時間 9時30分～17時（入館は16時30分まで）

休 館 日 月曜日

観 覧 料
一般 300(250)円 高大生 150(100)円 中学生以下無料
（ ）内は10名以上の団体料金、リピーター割引料金、前売料金
障害者手帳をお持ちの方等は無料

近美コレクションとの共通券 一般 700円 高大生 300円

主催 北海道立近代美術館 共催 北海道新聞社 後援 札幌市、札幌市教育委員会

北海道立近代美術館
Hokkaido Museum of Modern Art
○札幌市中央区北1条西17丁目○地下鉄東西線「西18丁目」4番出口より徒歩5分○TEL 011-644-6882
○HP http://www.dokyoi.pref.hokkaido.lg.jp/hk/knb/
○Twitter https://twitter.com/dokinbi
○Facebook http://facebook.com/dokinbi